

2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年11月10日
上場取引所 東

上場会社名 双葉電子工業株式会社
 コード番号 6986 URL <http://www.futaba.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 有馬 資明
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 業務管理本部長 (氏名) 中村 正行 TEL 0475-24-1111
 四半期報告書提出予定日 2021年11月12日 配当支払開始予定日 2021年12月6日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績 (2021年4月1日～2021年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	26,190	14.3	△788	—	△483	—	△1,189	—
2021年3月期第2四半期	22,922	△23.1	△2,037	—	△1,924	—	△2,992	—

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 △1,574百万円 (—%) 2021年3月期第2四半期 △2,099百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株 当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	△28.04	—
2021年3月期第2四半期	△70.54	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	97,810	85,148	76.5
2021年3月期	100,206	87,500	76.7

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 74,806百万円 2021年3月期 76,882百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	14.00	—	14.00	28.00
2022年3月期	—	14.00			
2022年3月期 (予想)			—	14.00	28.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年3月期の連結業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	53,500	9.6	△1,200	—	△800	—	△3,000	—	△70.73

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、[添付資料]10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2022年3月期2Q	42,426,739株	2021年3月期	42,426,739株
2022年3月期2Q	9,270株	2021年3月期	8,981株
2022年3月期2Q	42,417,666株	2021年3月期2Q	42,418,357株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、当社が現時点で入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいて算出しており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々な要因により異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については[添付資料]3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における国内経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大により緊急事態宣言が断続的に発出され、社会・経済活動が制限されるなど、厳しい状況が続き、業績の改善が進んでいた製造業においても、半導体などの供給不足により、生産活動が停滞するなどの悪影響が顕在化しております。先行きについては、ワクチン接種の進展や各種政策効果などにより、景気の持ち直しが期待されますが、感染再拡大の懸念もあり、依然として不透明な状況が続いております。

また、世界経済においても、中国や欧米では緩やかな回復基調にある一方、新型コロナウイルス感染症の再拡大への懸念や半導体を始めとした世界的な部品不足、米中問題の長期化など、極めて不透明な状況となっております。

このような状況のなか、当第2四半期において当社グループは、中期経営計画（Futaba Innovation Plan 2023）に掲げた方針に基づき、諸施策の取り組みを更に深化させ、コスト構造改革による収益の改善と事業成長の促進に取り組んでおります。その具体的な取り組みとしましては、小型カラー有機ELディスプレイの開発による高付加価値製品の市場展開、当社産業用ドローンによる実証実験、WEBを用いた新製品の積極的な拡販活動、国内営業拠点の再編を行いました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における経営成績は、次のとおりになりました。

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減率 (%)
売上高	22,922	26,190	14.3
営業損失(△)	△2,037	△788	—
経常損失(△)	△1,924	△483	—
親会社株主に帰属する 四半期純損失(△)	△2,992	△1,189	—
米ドル平均レート	107円/\$	110円/\$	3円

セグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

① 電子デバイス関連

(主な製品：タッチセンサー、有機ELディスプレイ、蛍光表示管、複合モジュール、産業用ラジコン機器、ホビー用ラジコン機器等)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間	増減率 (%)
売上高	9,445	10,913	15.5
営業損失(△)	△1,895	△1,342	—

タッチセンサーでは、構成比率の高い海外での車載用途が好調に推移したことから、売上は前年同期を上回りました。

有機ELディスプレイでは、海外での事務機用途および映像用途は好調に推移しましたが、車載用途では顧客の半導体の調達難による生産調整の影響やWi-Fiルータ向けの需要が落ち込んだことから、売上は前年同期を下回りました。

複合モジュールでは、国内での事務機用途および計測器用途が好調であったことから、売上げは前年同期を上回りました。

産業用ラジコン機器では、トラッククレーン向けやFA向け、医療関連向けが好調に推移したことから、売上げは前年同期を上回りました。

ホビー用ラジコン機器では、需要が横ばいで推移したことから、売上げは前年同期並となりました。

② 生産器材

(主な製品：プレート製品、金型用器材、成形・生産合理化機器)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間	増減率 (%)
売上高	13,486	15,294	13.4
営業利益又は 営業損失(△)	△142	554	—

国内では、自動車関連において半導体不足などによる減産の影響があったものの、設備投資関連の市場が回復してきたため、モールドおよびプレス金型用器材やプレート製品が好調に推移し、成形・生産合理化機器も堅調であったことから、売上げは前年同期を上回りました。

海外では、主力の韓国において、景気の持ち直しから需要が増加し、為替が円安で推移した影響も受けたことから、売上げは前年同期を上回りました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金や投資有価証券の減少などにより、前連結会計年度末に比べ23億9千5百万円減少し、978億1千万円となりました。

負債は、その他流動負債や未払法人税等の減少などにより、前連結会計年度末に比べ4千4百万円減少し、126億6千1百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ23億5千1百万円減少し、851億4千8百万円となりました。この結果、自己資本比率は76.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、最近の業績動向等を踏まえ、2021年5月11日に公表しました連結業績予想を修正しています。

詳細につきましては、本日(2021年11月10日)公表の「通期連結業績予想の修正および特別損失の計上に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	40,829	38,436
受取手形及び売掛金	14,076	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	13,212
電子記録債権	825	942
有価証券	612	600
商品及び製品	2,905	3,286
仕掛品	2,612	2,771
原材料及び貯蔵品	6,269	7,719
その他	1,110	1,468
貸倒引当金	△709	△673
流動資産合計	68,532	67,763
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,310	5,026
機械装置及び運搬具(純額)	2,136	1,923
工具、器具及び備品(純額)	277	319
土地	8,429	8,271
リース資産(純額)	1	1
建設仮勘定	69	165
その他	394	338
有形固定資産合計	16,619	16,046
無形固定資産		
のれん	82	63
その他	684	698
無形固定資産合計	766	761
投資その他の資産		
投資有価証券	9,348	8,331
その他	5,536	5,491
貸倒引当金	△597	△585
投資その他の資産合計	14,287	13,238
固定資産合計	31,673	30,046
資産合計	100,206	97,810

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,079	3,144
電子記録債務	659	832
短期借入金	456	392
未払費用	2,333	2,233
未払法人税等	432	315
賞与引当金	776	863
その他	1,410	1,200
流動負債合計	9,150	8,981
固定負債		
長期借入金	—	47
繰延税金負債	2,111	2,197
役員退職慰労引当金	59	62
退職給付に係る負債	747	758
その他	637	613
固定負債合計	3,555	3,679
負債合計	12,705	12,661
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,558	22,558
資本剰余金	21,558	21,558
利益剰余金	32,413	30,630
自己株式	△15	△16
株主資本合計	76,514	74,731
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,479	1,506
為替換算調整勘定	△2,742	△2,819
退職給付に係る調整累計額	1,631	1,388
その他の包括利益累計額合計	367	75
非支配株主持分	10,618	10,342
純資産合計	87,500	85,148
負債純資産合計	100,206	97,810

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
売上高	22,922	26,190
売上原価	19,385	21,593
売上総利益	3,537	4,597
販売費及び一般管理費	5,574	5,385
営業損失(△)	△2,037	△788
営業外収益		
受取利息	114	82
受取配当金	126	129
補助金収入	132	95
その他	93	119
営業外収益合計	466	427
営業外費用		
支払利息	10	39
為替差損	287	70
その他	55	12
営業外費用合計	353	123
経常損失(△)	△1,924	△483
特別利益		
固定資産売却益	4	297
投資有価証券売却益	—	127
ゴルフ会員権売却益	104	—
特別利益合計	108	424
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産廃棄損	0	2
減損損失	626	374
事業再編損	148	—
特別損失合計	775	377
税金等調整前四半期純損失(△)	△2,592	△436
法人税、住民税及び事業税	209	341
法人税等調整額	90	199
法人税等合計	300	540
四半期純損失(△)	△2,892	△977
非支配株主に帰属する四半期純利益	99	212
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,992	△1,189

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純損失(△)	△2,892	△977
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	772	33
為替換算調整勘定	151	△390
退職給付に係る調整額	△130	△239
その他の包括利益合計	793	△597
四半期包括利益	△2,099	△1,574
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,373	△1,482
非支配株主に係る四半期包括利益	274	△92

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△2,592	△436
減価償却費	613	542
のれん償却額	18	18
減損損失	626	374
貸倒引当金の増減額(△は減少)	150	△27
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△200	△183
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△107	3
退職給付に係る調整累計額の増減額(△は減少)	△165	△347
賞与引当金の増減額(△は減少)	△139	82
受取利息及び受取配当金	△240	△212
為替差損益(△は益)	199	51
有形及び無形固定資産除売却損益(△は益)	△3	△294
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	—	△127
固定資産解体撤去費用	24	2
事業再編損	148	—
ゴルフ会員権売却損益(△は益)	△104	—
売上債権の増減額(△は増加)	1,479	720
棚卸資産の増減額(△は増加)	1,578	△1,932
仕入債務の増減額(△は減少)	△279	149
その他	△199	△260
小計	807	△1,877
利息及び配当金の受取額	309	235
利息の支払額	△1	△37
事業再編による支出	△218	—
法人税等の支払額	△352	△519
法人税等の還付額	90	74
営業活動によるキャッシュ・フロー	635	△2,123
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△12,642	△11,792
定期預金の払戻による収入	12,484	14,230
有価証券の取得による支出	△444	—
有形固定資産の取得による支出	△1,110	△773
有形固定資産の売却による収入	6	359
投資有価証券の取得による支出	△200	△200
投資有価証券の売却及び償還による収入	502	1,366
貸付けによる支出	△2	△49
貸付金の回収による収入	1	2
ゴルフ会員権の売却による収入	104	—
その他	△13	3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,314	3,145

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	502
短期借入金の返済による支出	△45	△532
長期借入れによる収入	—	48
リース債務の返済による支出	△80	△95
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△593	△595
非支配株主への配当金の支払額	△179	△183
その他	0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△899	△856
現金及び現金同等物に係る換算差額	△126	△4
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,704	161
現金及び現金同等物の期首残高	29,585	25,667
現金及び現金同等物の四半期末残高	27,880	25,828

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

なお、収益認識適用指針第98項に定める代替的な取扱いを適用し、商品又は製品の国内の販売において、出荷時から当該商品又は製品の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の間である場合には、出荷時に収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高への影響もありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項および「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子デバイス 関連	生産器材	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,441	13,481	22,922	—	22,922
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3	4	8	△8	—
計	9,445	13,486	22,931	△8	22,922
セグメント損失(△)	△1,895	△142	△2,037	0	△2,037

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額0百万円は、セグメント間取引消去です。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

電子デバイス関連セグメントにおいて、収益性が低下し投資額の回収が見込めなくなった当社および一部の連結子会社における事業用資産の帳簿価額を、回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しています。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては509百万円です。

II 当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子デバイス 関連	生産器材	合計		
売上高					
日本	4,503	7,070	11,573	—	11,573
米州	2,503	59	2,562	—	2,562
欧州	715	0	715	—	715
アジア他	3,176	8,153	11,330	—	11,330
顧客との契約から生 じる収益	10,898	15,284	26,182	—	26,182
その他の収益	8	—	8	—	8
外部顧客への売上高	10,906	15,284	26,190	—	26,190
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6	9	16	△16	—
計	10,913	15,294	26,207	△16	26,190
セグメント利益又は損 失(△)	△1,342	554	△787	△0	△788

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△0百万円は、セグメント間取引消去です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

電子デバイス関連セグメントにおいて、収益性が低下し投資額の回収が見込めなくなった当社および一部の連結子会社における事業用資産の帳簿価額を、回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しています。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては277百万円です。

(重要な後発事象)

(固定資産の譲渡)

当社は、2021年10月11日付で、下記のとおり固定資産の譲渡について決議し、2021年10月20日に譲渡契約を締結し物件の引き渡しをいたしました。

1. 譲渡の理由

経営資源の有効活用による資産の効率化を図るため、当社が保有する不動産の譲渡を行うものです。

2. 譲渡資産の内容

資産の名称および所在地	譲渡価額	帳簿価額	譲渡益	現況
旧名古屋営業所 (名古屋市東区芳野1-16-32) 土地面積 915.35㎡	(注1)	(注1)	241百万円	土地・建物

(注1) 譲渡価額、帳簿価額については、譲渡先の意向により開示を控えさせていただきますが、譲渡価額は入札により決定したものであります。

(注2) 譲渡益は、譲渡価額から帳簿価額および譲渡に係る諸費用を控除した額です。

3. 相手先の概要

譲渡先につきましては、国内の事業法人であります。譲渡先との契約等により公表を控えさせていただきます。なお、譲渡先と当社との間には、資本関係、人的関係および取引関係はなく、また、関連当事者にも該当いたしません。

4. 譲渡の日程

- (1) 社内決裁日 2021年10月11日
- (2) 契約締結日 2021年10月20日
- (3) 物件引渡日 2021年10月20日

5. 今後の見通し

当該固定資産の譲渡に伴い、2022年3月期第3四半期連結決算において、241百万円を固定資産売却益として特別利益に計上する見込みです。